

学習指導案（略案）

5月23日(月)6校時

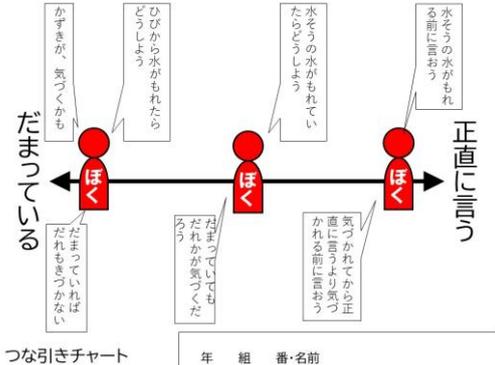
道徳科

単元名 「ひびが入った水そう」

指導者 長谷川 洋

【本時のねらい】 ・クラスで飼っているカメの世話の最中、誤って水槽に「ひび」を入れてしまった「けい太」。葛藤の末、翌日になってから先生に報告した「けい太」の行動を「綱引きチャート」で時系列的に捉えることを通して、「正直」について考えさせる。

【本時の指導】（1 / 1 時間目）

	学習内容など	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 「ひびが入った水そう」でどんな出来事があったのかを確かめる。(5分) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童は朝読書の時間に「ひびが入った水そう」を一読させている。(学級担任)
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> 「綱引きチャート」の紹介 (3分) 各自の「綱引きチャート」に、だまっていた「けい太」の気持ちを書かせる。 【個の学び】(3分) ペアで、だまっていた「けい太」の気持ちについて考える (3分) 何人か発表する (3分) 「かずき」やお母さんから声をかけられても本当のことが言えなかった「けい太」の気持ちを書かせる (3分) ペアで考えさせる (3分) 何人か発表する (3分) 次の日、先生に報告した「けい太」の気持ちを書かせる (3分) ペアで考えさせる (3分) 何人か発表する (3分) 	<ul style="list-style-type: none"> 一つだけの座標軸の思考ツール「綱引きチャート」に書きこませる。 「自分だったら」ではなく、「けい太」になった気持ちで書かせる。 
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【学習問題】水そうに「ひび」を入れてしまい、次の日に報告した「けい太」は、「正直」なのだろうか？</p> </div>		
終末 5分	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見と、自分ならどうするかを書く。(10分) 	<ul style="list-style-type: none"> プロスペクト理論を紹介する。 プロスペクト理論 = 「確実に」損するよりも、「確実になくても」損をのがれる方を選んでしまう心理。 ⇒ 「ひび」を入れてしまったことをすぐ言っても責められる（確実な損）。ばれなければ責められない（損をのがれる）。それならだまっていよう。

【本時の評価】 ・「正直」な行動をとったほうが、「確実な得」であることに気づくことができたか。